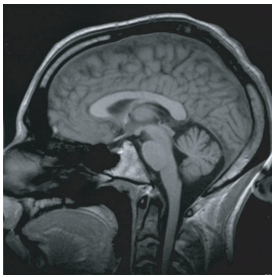


Neuro Ethics

ニューロエシックス



脳科学の倫理と 脳科学者の倫理

今までは脳科学と結びついてこなかった新しい応用科学の領域が、脳機能イメージングをはじめとする脳科学研究ツールの発展によって生まれつつあります。例えば、人間の脳を直接機械につないでしまうブレイン・マシン・インターフェイスと呼ばれる技術の実用化が始まったり、ニューロエコノミクス、ニューロポリティクスといった、脳画像から人間の経済行動を予測したり、政治的志向性を調べたりする学問領域も台頭してきています。そして脳科学の現状と未来に関する一般社会の関心が高まるなか、日本には「脳文化人」と呼ばれる人たちも出現してきました。

このような、従来の医療倫理や生命倫理だけでは対処が難しいのでは？と思われる社会的・倫理的問題が、脳科学研究の現場で、そして脳と関わりを持つ種々の社会現場で登場しつつあります。ニューロエシックスはそのような背景を踏まえて発展してきた新しい学問領域です。

セミナーでは、ニューロエシックスについて概説すると同時に、脳科学者ひとりひとりに求められる「**科学者倫理**」とは何かを皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

(独) 科学技術振興機構
社会技術研究開発センター

ふくし たまみ
研究員 **福士 珠美**



8月22日(水)

16:30 ~ 18:00

コラボ3

知識2棟6階

福士珠美：北海道大学で行動科学の博士を取得後、アメリカの大学でポスドクとして脳科学の研究に従事。帰国後、脳神経倫理学という新しい分野を開拓している。

問い合わせ：
hash@jaist.ac.jp